

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年2月15日
【四半期会計期間】	第63期第3四半期（自平成27年10月1日至平成27年12月31日）
【会社名】	NKKスイッチズ株式会社
【英訳名】	NKK SWITCHES CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大橋 智成
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1
【電話番号】	044-813-8026
【事務連絡者氏名】	取締役 塚 正 勉
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1
【電話番号】	044-813-8026
【事務連絡者氏名】	取締役 塚 正 勉
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期連結 累計期間	第63期 第3四半期連結 累計期間	第62期
会計期間	自平成26年 4月1日 至平成26年 12月31日	自平成27年 4月1日 至平成27年 12月31日	自平成26年 4月1日 至平成27年 3月31日
売上高 (千円)	6,117,811	5,864,039	8,283,188
経常利益 (千円)	767,720	309,849	847,240
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	449,572	80,496	554,941
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	852,688	135,564	1,057,419
純資産額 (千円)	11,653,046	11,902,347	11,857,726
総資産額 (千円)	14,328,252	14,280,793	14,612,140
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	54.61	9.78	67.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	81.3	83.3	81.2

回次	第62期 第3四半期連結 会計期間	第63期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成26年 10月1日 至平成26年 12月31日	自平成27年 10月1日 至平成27年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	27.43	6.62

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について変更はありません。なお、主要な関係会社における異動は以下のとおりであります。

##### <アジア>

第2四半期連結会計期間より、NKK Switches Mactan, Inc.を新たに設立したため、同社は連結子会社となりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国をはじめとする先進国経済は雇用環境や個人消費の改善等を背景に引き続き堅調に推移したものの、中国経済の減速をはじめ、アジア新興国の成長鈍化、原油価格下落等の影響により、停滞感が強い状況で推移いたしました。国内経済におきましては、個人消費は底堅いものの、円安効果が一巡して輸出は弱含んで推移し、また地政学的リスクの高まりや中国を中心とする新興国経済の減速の影響により、先行き不透明な状況となっております。

こうした中、当社グループは、新3ヵ年の中期経営計画「Accomplish 100」のもと、売上面ではネット販売網の拡充、セールスネットワークを拡充するためのCD戦略など当社グループの販売強化項目を展開して参りましたが、不透明さを増す世界経済の影響などから、厳しい状況となりました。一方、生産面においては、競争力の強化を目指してタッチパネル事業の生産効率の向上と品質強化、また第三の生産拠点となるフィリピンマクタン工場の稼働に向けての準備を推進して参りました。さらに開発面では、市場ニーズを先取りする独創的な高付加価値商品をタイムリーに市場へ投入するための研究開発環境を整備するなど、グローバル市場における競争力を確固たるものにするための積極的な施策を行って参りました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億6千4百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は2億9千9百万円（前年同期比53.3%減）、経常利益は3億9百万円（前年同期比59.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千万円（前年同期比82.1%減）となりました。

なお、セグメントの概況は次の通りであります。

#### 日本

日本国内は良好な企業業績を背景に総じて緩やかな回復傾向にあるものの、全体的には弱含みの状態が継続しております。こうした中、当社グループは販売強化項目を中心に積極的に展開して取り組みましたが、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は32億5千6百万円（前年同期比6.8%減）、グループ間の取引を含んだ売上高は52億7千9百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

#### 米国

米国の受注については全体的には弱含みに推移しておりますが、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」に積極的に取り組んでまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20億2千1百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

#### アジア

中国経済の成長率鈍化が一層顕著となってきており、当社スイッチについても全体的には弱含みに推移しております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」を中心に積極的に展開して取り組んだ結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、34億4千4百万円（前年同期比23.3%増）、外部顧客向売上高は5億8千6百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

## ( 2 ) 財政状態の分析

### 資産

資産合計は142億8千万円（前連結会計年度末比3億3千1百万円の減少）となりました。

主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比5億7千万円の減少）、商品及び製品の増加（前連結会計年度末比2億7千8百万円の増加）によるものであります。

### 負債

負債合計は23億7千8百万円（前連結会計年度末比3億7千5百万円の減少）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比1億2千1百万円の減少）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比1億4千万円の減少）、引当金の減少（前連結会計年度末比6千3百万円の減少）によるものであります。

### 純資産

純資産合計は119億2百万円（前連結会計年度末比4千4百万円の増加）となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比5千7百万円の増加）によるものであります。

## ( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

## ( 4 ) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2億8千4百万円であります。当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間の工業所有権出願件数は4件となっております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成28年2月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,425,200	8,425,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	8,425,200	8,425,200		

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成27年10月1日～ 平成27年12月31日		8,425,200		951,799		833,305

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 193,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,202,000	8,202	
単元未満株式	普通株式 30,200		
発行済株式総数	8,425,200		
総株主の議決権		8,202	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式90株が含まれております。

【自己株式等】

平成27年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) NKKスイッチズ株	神奈川県川崎市高津区 宇奈根715番地1	193,000		193,000	2.29
計		193,000		193,000	2.29

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,199,847	5,629,089
受取手形及び売掛金	1,526,160	1,247,207
商品及び製品	1,169,272	1,448,151
仕掛品	141,679	100,663
原材料及び貯蔵品	1,409,845	1,401,549
繰延税金資産	282,868	190,626
その他	213,686	266,815
貸倒引当金	2,941	2,846
流動資産合計	10,940,420	10,281,257
固定資産		
有形固定資産	1,561,864	1,807,485
無形固定資産	492,039	392,064
投資その他の資産	1,617,816	1,799,985
固定資産合計	3,671,720	3,999,536
資産合計	14,612,140	14,280,793
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,222,151	1,100,244
未払法人税等	194,282	53,648
引当金	119,319	55,953
その他	656,031	659,174
流動負債合計	2,191,784	1,869,021
固定負債		
繰延税金負債	196,272	161,994
役員退職慰労引当金	149,600	129,850
退職給付に係る負債	99,959	101,603
その他	116,797	115,976
固定負債合計	562,629	509,424
負債合計	2,754,413	2,378,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,606,972	9,596,912
自己株式	160,056	160,443
株主資本合計	11,232,020	11,221,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455,320	513,058
為替換算調整勘定	170,385	167,715
その他の包括利益累計額合計	625,705	680,773
純資産合計	11,857,726	11,902,347
負債純資産合計	14,612,140	14,280,793



( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	6,117,811	5,864,039
売上原価	3,455,487	3,501,794
売上総利益	2,662,324	2,362,244
販売費及び一般管理費	2,022,328	2,063,244
営業利益	639,995	299,000
営業外収益		
受取配当金	19,803	22,730
為替差益	113,994	-
受取賃貸料	7,867	10,075
その他	6,415	17,469
営業外収益合計	148,080	50,275
営業外費用		
支払利息	1,055	1,064
売上割引	15,129	18,253
賃貸収入原価	3,692	3,917
為替差損	-	15,152
その他	478	1,039
営業外費用合計	20,356	39,426
経常利益	767,720	309,849
特別損失		
固定資産除却損	871	2,045
特別損失合計	871	2,045
税金等調整前四半期純利益	766,849	307,804
法人税、住民税及び事業税	358,517	193,433
法人税等調整額	41,240	33,874
法人税等合計	317,276	227,308
四半期純利益	449,572	80,496
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,572	80,496

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	449,572	80,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	105,471	57,737
為替換算調整勘定	297,644	2,669
その他の包括利益合計	403,115	55,068
四半期包括利益	852,688	135,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	852,688	135,564
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、NKK Switches Mactan, Inc.は新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の当四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計期間 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
受取手形	- 千円	59,825千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
減価償却費	317,162千円	298,519千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	41,167	5.0	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金
平成26年11月10日 取締役会	普通株式	41,163	5.0	平成26年9月30日	平成26年12月11日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	49,395	6.0	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金
平成27年11月4日 取締役会	普通株式	41,160	5.0	平成27年9月30日	平成27年12月11日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	3,495,110	2,028,052	594,649	6,117,811
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,556,026	1,971	2,198,143	3,756,141
計	5,051,136	2,030,023	2,792,792	9,873,952
セグメント利益	321,638	335,696	189,304	846,639

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	846,639
セグメント間取引消去	206,643
四半期連結損益計算書の営業利益	639,995

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	日本	米国	アジア	
売上高				
（1）外部顧客への売上高	3,256,365	2,021,082	586,591	5,864,039
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	2,023,384	276	2,858,241	4,881,902
計	5,279,749	2,021,359	3,444,832	10,745,941
セグメント利益	295,586	211,597	91,002	598,187

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	598,187
セグメント間取引消去	299,186
四半期連結損益計算書の営業利益	299,000

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	54円61銭	9円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	449,572	80,496
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	449,572	80,496
普通株式の期中平均株式数(株)	8,233,002	8,232,309

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成27年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・41,160千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成27年12月11日

(注) 平成27年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年2月15日

NKKスイッチズ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古山和則

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内野福道

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているNKKスイッチズ株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成27年10月1日から平成27年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、NKKスイッチズ株式会社及び連結子会社の平成27年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。